

科目名称：	社会福祉	
担当者名：	鴨野 直敏	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>社会福祉は、他の社会的制度・施策と同様に歴史的・社会的所産である。保育とは一見、関係ないように思えるが、保育士を目指す学生にとって、社会福祉は子どもから障害児・者、高齢者まですべての人の一生・人生に関わる大きく関係する科目である。本講義では、保育士にとって、社会福祉を学ぶことは必要不可欠あることを理解してもらい、各制度・施策を学習して活用できることを目的とする。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>社会福祉の歴史から制度・施策に関するまで幅広い知識を身に付けて、それを応用できるだけの能力・技術を涵養することを目標とする。今日の社会で、保育士として必要な価値・知識・技術を身につけることを到達点とする。</p>		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	○
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)		70		30	100
幼児教育DP(3)					0
幼児教育DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 精神保健福祉士	《経験年数1》 3年
	《内容2》 社会福祉士	《経験年数2》 4年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 はじめに、保育における社会福祉とは何かを議論し学生間でグループワークする。そして発表する。	なぜ、保育士にとって社会福祉を学ぶ事が必要なのか考えておく。	20分
第2回 社会福祉の理念と概念について学びそれを言葉で言い表せる様にグループワークして発表する。	子どもの幸せを支える社会福祉と保育計画について事前に考えレポートにする。	30分
第3回 社会福祉の歴史の変遷について学び、そこから今日の課題を言い表せるように学生間で議論する。	社会福祉の歴史的背景と変遷について、教科書を中心に読み込んでおく。	30分
第4回 社会福祉の法律について学びそれを自分のものとして体得できるようにディスカッションする。	事後学習として学習した法律・制度の具体的な運用方法についてレポートにする。	30分
第5回 社会における今日の課題とについて学び、社会保障を中心とした制度についてディスカッションする。	女性と子どもの貧困を中心にしてどのような社会問題があるかネットより検索。	30分
第6回 子どもと家族の福祉について、今日の問題と施策について理解できるようにグループワークする。①	虐待の種類、女性の社会進出・晩婚化による諸問題についてネットより検索。	30分
第7回 子どもと家族の福祉について、今日の問題と施策について理解できるようにグループワークする。②	虐待問題、DV、核家族化を中心にした現代社会問題についてネットより検索。	30分
第8回 小テスト。児童福祉施設と施策について理解できるようにディスカッションする。	福祉事務所と児童家庭福祉の仕組み、家庭児童相談室等について調べておく。	20分
第9回 障害児・者福祉と保育について学生間で議論し今日の課題を抽出する。そして発表する。	障害の種類と程度について、どのようなものがあるのかネットより検索。	30分
第10回 障害児・者福祉の法律と制度について学び自分のものとして体得できるようにグループワークする。	ノーマライゼーション、社会的包摂とは何かについてネットより調べておく。	30分
第11回 ソーシャルワークと保育についてその関係性を学び保育士における相談援助の重要性を議論する。	保育における相談援助とは何かについて持論できるようにレポートにしておく。	30分
第12回 地域福祉と保育について学び地域包括ケアシステムにおける保育士の役割をディスカッションする。	地域包括ケアシステムとは何かネットより調べる。我が事、丸ごとについて。	30分
第13回 社会福祉の生活について学ぶ。低所得層に対する支援について諸施策・法律を学生間で議論する。	新聞・ニュース等から社会福祉に関連する問題をノートに記載しておく。	50分
第14回 高齢者福祉と保育士の関係性について学びその制度の活用について学生間で議論する。	保育士における高齢者福祉を学ぶ意義について下調べしておく。	30分
第15回 まとめ、小テスト実施。	保育における社会福祉とは何かを言葉で言い表せるように具現化しておく。	20分
事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修は調べたことなどまとめておく。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。 授業への積極的関与・授業内での発表および質問等30点・小テスト2回70点、計100点満点で評価する。		
課題に対するフィードバック		
小テストは、2回とも返却する。コメントカードに対しては、次の授業時に適切にお答えする。		
教科書・参考書		
教科書：図解で学ぶ保育 社会福祉（萌文書林） 参考書：生活事例からはじめる 新・社会福祉（青踏社）		